

第17回記念のつどい 「ひびけ世界へ 被爆ピアノコンサート」

平和への願いを届けてくれた「被爆ピアノ」

5月24日(土) 西区文化センターなでしこホールで「被爆ピアノコンサート」を開催しました。小雨の降る中でしたが、265名の方が参加され、「演奏の皆さんが被爆ピアノに思いを込めて弾いていることが伝わり、感動しました！」などの感想が多く寄せられました。■「被爆ピアノの話」は広島市の被爆2世のピアノ調律師である矢川光則さん。被爆ピアノを7台授かり、2005年からトラックに載せて、全国3000か所を回っている。このピアノは海外でも演奏されている。参加者から「被爆ピアノがこんなにも美しい音色で私たちを魅了してくれた」「ピアノに歴史の証言者として語らせる意味は深い」などの声がありました。



矢川さんと出演者の方々

■「TAKEMOTO ピアノ教室の生徒さんと先生の演奏」では 年長組から中学2年生までの5名の生徒が演奏。親子である竹本玲子・玲美先生が連弾。そして、先生から生徒たちに被爆ピアノを弾いた感想のインタビューでは、両親が広島出身であることや事前に広島原爆資料館を見学した生徒がいるなどの紹介もあり、感動を呼びました。「子どもが被爆ピアノに込めた平和への気持ちが伝わってくる優しい音色だった」「先生親子による連弾。息が合って大変良かった」などの感想が寄せられています。■「ノーベル平和賞受賞のメッセージ」として、明石市原爆被害者の会会長・岸本さんから日本被団協の歴史と今回の受賞の意味として、核兵器が使われるかもしれない世界情勢の中で、我々に一層の努力を課したものと考えている。また、自身が被爆した2歳半でも覚えている当時の体験を話されました。

■「平和を歌おう」では、中村宏臣医師が「一本の鉛筆」他1曲を独唱。併せてヴァイオリン演奏も。次に元小学校音楽教師の川上さんから、「九条の会」発起人の一人である井上ひさし作詞「ひょっこりひょうたん島」、戦争体験のひもじい思いから「アンパンマン」を創作したやなせたかし作詞「手のひらを太陽に」の歌唱指導もありました。

■最後にピアニストの広瀬一葉さんの演奏があり、「月光」「ひまわり」他3曲と「原爆許すまじ」を追加。「選曲に込められた想いや音色を愛おしむような奏でにも心打たれた」「特攻隊の明日出撃されるという兵隊さんの「月光」の話がよく、せつない音色でした」との感想がありました。フィナーレは「折り鶴」の歌を合唱して閉会としました。今回のつどいには、9条の会活動への期待も多く寄せられ、被爆ピアノの響き、改めて平和への想いを強くしました。

つどい当日に、参加者の皆さまから9条の会に55796円の募金が寄せられました。厚くお礼を申し上げます



◆6月のつどい 6月15日(日)

「守ろう日本の食と農」

講師 柳澤 尚さん(兵庫食健連会長)

西区文化センター2階第1会議室

14:00~16:00 (参加費 300円)

※詳しくはチラシをご覧ください

◆7月のつどいはありません

Act Now 1(イチ)の日行動にご参加を!

★毎月一回、西神中央駅前で「改憲 No! 九条壊すな!」のアピール行動を続けています

★次回は2025年7月1日(火)16:00~17:00

「9条は世界平和の道しるべ」 5・3兵庫憲法集会

5月3日五月晴れの下、「戦争させない。9条壊すな！兵庫憲法集会」が神戸・みなとの森公園で開催された。

今年のメインテーマは「被爆80年、戦後80年憲法はあなたの命と未来のサポーター」。県内各地から9条の会、各種市民団体、労組など3500名が参加した。代表挨拶で羽柴弁護士は「世界各地で戦争が続き多くの命が失われている」「被団協のノーベル平和賞の受賞と戦後80年改めて憲法の恒久平和、基本的人権、国民主権の基本原則を継承していかなければならない」「9条を世界平和の道しるべとして市民が行動していこう」と呼びかけた。

今年のメインスピーカーはピースボート共同代表の畠山澄子さん。広島や長崎の被爆者と共に世界各地に原爆の悲惨さと核廃絶を求めてきた自身の活動体験を語った。核実験地の被爆者とも交流し国家の閉ざされた枠だけでなく市民レベルの対話の重要性を指摘した。

最後に高校生平和大使の2名が、平和宣言を読み上げ、夏に開催される国連欧州本部で核廃絶をアピールする決意を発表した。

当会から18名が参加、フラワーロード、三ノ宮の繁華街をデモ行進した。（春日台・大西）

ジョー句



お題「アジサイ」

紫陽花は 平和占う リトマス紙 （空耳）

自由題

大の里 米でください 懸賞金 （骨歩）

減税は ずっと前から 法人税 （現妻）

7月のお題は「タ立」

y-onishi@live.jp に投稿お待ちしております。

17回記念のつどい アンケートより

○被爆者の話を直接聞いたのは、初めてでした。とても、よかったです。（70代・自宅に入ったチラシを見て参加）

○岸本さん（明石原爆被害者の会会長）のお話に感動しました。（80代）

○被爆ピアノを弾くことになった子どもたちの思いが広がればなあと思いました。

ピアノ自体も喜んでいることだろうと思いました。（60代）

○子どもさんたちが被爆ピアノのことを学んだ上で、演奏されていて感心しました。様々な機会を通して子どもたちに戦争のことを伝えていけたら・・・と思います。また、被爆者の声を実際に聞く機会は少ないので岸本氏のお話がとてもよかったです。広瀬さんの特攻隊の明日出撃されるという兵隊さんの「月光」の話もよかったです。せつない音色でした。（60代）

○戦争が起こらない、起こさせない世界を願います。被爆ピアノについてどこの地域かや持ち主について知りたかったです。演奏は、心がこもっていてよかったです。

戦争体験者が少なくなる今、次の世代に向けてこのような活動を続けていく必要を痛感しました。貴重な体験をありがとうございました。

（50代・駅を歩いていたら立っていた女性からの案内で知った）

○幼いお子さんも被爆ピアノの意義と歴史の重みを深く感じて演奏していることに感じ入りました。広瀬一葉さんの選曲に込められた想いや音色を愛おしむような奏でにも心打たれました。平和についてしみじみと考えるひとときになりました。ありがとうございました。（60代）



みなさんのご協力ありがとうございました。



2025 年 6 月 発行：西神ニュータウン 9 条の会

〔HP〕 <http://www.ne.jp/asahi/seishin/9jyonokai>

〔連絡先〕TEL 090-3359-0776(大西)



HPへリンク